

「摂食嚥下障害看護」

～食事を楽しく安全に～

利用者の高齢化や身体機能の低下など、はまなす園でも見られるようになり、昨年度知的協会で行われた加齢化研修会で講師をしていた、社会医療法人医仁会 中村記念南病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師の松澤優看護師に講師としてはまなす園でも摂食嚥下についてお話をいただきました。

講義の内容と実際に嚥下の時の口や舌の動きがどのようになっているのかをお茶やお菓子をそれぞれ食べてみて実感することで、嚥下のメカニズムがより分かりました。

園の利用者さんの中には、食べているときでも注意がすぐ別のところに行ってしまいう方、咀嚼をほとんどしないで食べてしまう方など多くいますが、生活の中での大変楽しみの時間であるため、クオリティを下げないで安全な食事の提供の工夫を考えていきたいです。



参加した職員から

口腔ケアと嚥下と関係性があることを学びました。

医療健康委員会としても、口腔ケアの質の向上に向けて進んでいかなければなあと思いました。

奥歯の無い利用者さんの嚥下を気をつけなければいけないと思いました。

また、下は全義歯の方や部分的に抜けている方、てんかん発作を持っている方など、よし一層の配慮・見守りが必要と思いました。